

一晩中寝れないのがきみで
夜中に幾度も目覚めるのが俺

愛する苦を書きなぐるのがきみで
裏切る哀をしたためるのが俺

愛した人なら騙せるきみ
愛した人でも騙せる俺

とどかぬことに憤るきみと
とどかぬことを嘆く俺と

過ぎた恋に縋るのがきみで
無くした愛を数えるのが俺

明るく泥酔するのがきみで
ほろ酔ううちに微睡むのが俺

光のどけき春のきみ
浦の苦屋の秋の俺

泣きながらも笑っているきみと
笑ってるかげで泣いてる俺と

慟哭しつつ斬るのがきみで
斬ったあとで頬を濡らすのが俺

まこと求めて吸うのがきみで
なぐさみ求めて煙らすのが俺

「社会は腐ってる！」叫ぶきみ
「腐ってなんぼだ」こぼす俺

生にも死にも懸命なきみと
静にも動にも苦悩する俺と

「またね」と笑顔つくるのがきみで
「さよなら」言えず押し黙るのが俺

今日は別々の道を往こう
いつかの明日でまた会えるから

See you, my dears 遥 弥生 あるいは